

教頭通信デジタル

令和4年10月3日（月）第16号

文責：備前市立三石中学校 早川政宏

校訓について考える！！

校訓（school precepts）とは、学校が定めている教育に関する目標や方針などを成文化（文章として書き表すこと）したものである。学校によっては校訓を制定していないことがあるが、校訓に類する目標やスローガンを定め、学校運営に生かしている場合が多い。【「ウィキペディア（Wikipedia）：フリー百科事典」より引用】

三石中学校の校訓は『**考えよ 耐えよ 行なえよ**』です。玄関や体育館にも示されており、昔から受け継がれています。本校の場合、ピラミッドに例えると、頂点に**校訓『考えよ 耐えよ 行なえよ』**を掲げています。そして、次に、**教育目標である『豊かな心を持ち たくましく 共に生きる生徒の育成』**を定め、**『学びのある授業づくり・豊かな心づくり・生活習慣と体力づくり』**を指導の重点としています。

私は中学校の教員になって今年で27年目です。6校の中学校で勤務してきました。それぞれの中学校にも校訓がありましたが、三石中学校の校訓が1番好きです。とにかく、分かりやすい。そして、いろいろな場面（学校生活や家庭生活）で目標にすることができるからです。校長先生は式典の際には必ず校訓について触れられ、生徒のみなさんにメッセージを送られています。同様に、三石中学校で勤務するわれわれ教職員に対しても、第1回職員会議において、「私たちが校訓の実践者でありたい。自分の仕事に誇りを持ちながら…」とのお話がありました。

それぞれの学校にはそれぞれの校訓があり、校訓を大きな目標として学校教育（授業や学校行事、そして、部活動等）を展開しています。校訓を考えた人（初代の校長先生だと思います）は内外の環境を細かく分析した上で、優れた教育活動（人づくり）に取り組むための目標として校訓を考えられたのだと思います。実際に勤務してみると、校訓がその学校にたいへんマッチしていることがよく理解できます。学校生活のみならず、あらゆるTPO（Time：時間 Place：場所 Occasion：場面）において校訓を意識していきましょう。三石中学校で生活する者として、校訓を実践することをとおして、より豊かな人生が歩めるようにしたいものですね。



本校と同じ校訓を掲げている学校を発見しました。左は本校の玄関前の写真です。右が他の学校の写真です。同じ校訓の基で、学校生活を送っていることに対して、非常に親近感をもちました。そして、同じ校訓に出会ったときは感激しました。学校名がお分かりになられた方は教頭までご連絡ください。お待ちしております。【ヒント】備前東地区（東備地区）の小学校です。